

不整脈非薬物治療ガイドライン（2018年改訂版）
初版～2019/8/7 更新版 正誤表

記載に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正致します。
（2019.11.20）

訂正箇所	誤	正
p30 図4「冠動脈疾患に対するICD適応」一番右の推奨クラス	クラスIIa	クラスI
p31 図5「心機能低下をともなう非虚血性心筋症に対するICD適応」タイトル	心機能低下をともなう非虚血心筋症に対するICD適応	心機能低下をともなう非虚血性心筋症に対するICD適応
p33 図6「原因不明の失神に対するICDの適応」タイトル	心機能低下をともなう非虚血心筋症に対するICDの適応	原因不明の失神に対するICDの適応
p37 図7「ブルガダ症候群に対するICDの適応」有症候性の右下、「電気生理検査（2連期外刺激以下）でのVF刺激」	電気生理検査（2連期外刺激以下）でのVF刺激	電気生理検査（2連期外刺激以下）でのVF刺激 <u>あり</u>
p37 図7「ブルガダ症候群に対するICDの適応」有症候性の右下、「電気生理検査（2連期外刺激以下）でのVF刺激」の下	ありの場合：クラスIIa，なしの場合：クラスIIb	あり，なしの分岐を削除，すべてクラスIIaへ
p37 図7「ブルガダ症候群に対するICDの適応」無症候性の一番上	無症候性	無症候性（自然発生ブルガダ心電図） ^{*2} ^{*2} ：Naチャンネル遮断薬誘発性 の場合は慎重な経過観察
p88 右段本文上から9行目，18行目	ExTra mapping	ExTRa Mapping